

校長室だより

No. 32

平成30年12月7日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず  
加藤嘉一

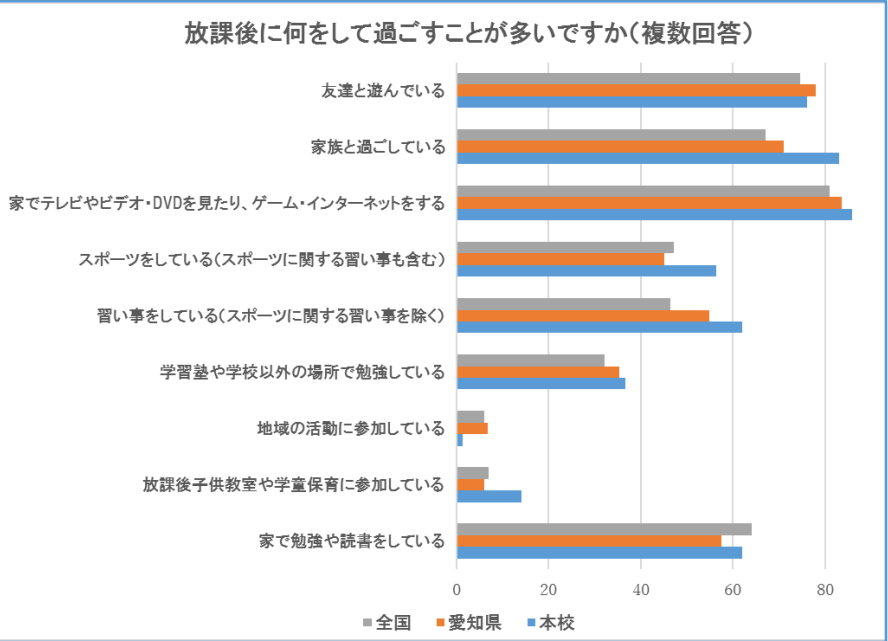
第2回学校評議員会開催 —全国学力・学習状況調査 質問紙調査を基に—



12月4日(火)に本校の学校評議員会を行いました。学校評議員会は、学期ごとに3回あります。第2回は、子供たちと直接対話し学校の様子や生活の実態をとらえてもらい、学校教育について御示唆いただく機会にしています。

これまででは、6年生の代表に防災など総合的な学習の取り組みについて調べを発表してもらい、それについて学校評議員さんに意見をもらったり、スマホや携帯の使用について子供と懇談したりしました。今年、全国学力・学習状況調査の質問紙調査の中で、全国の回答率と比べ、本校の傾向が特徴的だった項目を取り上げ、6年2組の子たちと懇談することにしました。その時の資料の一部が以下のグラフです。(ちなみに学力に関しては、以前各家庭にお知らせしていますが、正答率の平均は国数理ともに全国より上回っています)

本校の特徴は、全国に比べ放課後に「スポーツ」や「習い事」、「家族と過ごす」をしている割合が多いということです。学校評議員さんは、この点について関心をもち、どのくらいの子供が習い事



をしているのか、習い事の種類、週に何日通っているか、自分から通いたいと思って通っているのかを質問されました。6年2組では半数以上の子供が習い事をしていました。その種類は、習字、算盤、ピアノ、野球、水泳、サッカー、新体操、陸上、スポーツクライミング、空手、英語、絵、学習塾など、多岐に

資料が印刷では不鮮明ですみません。HPはカラーで掲載。詳しく見られたい方はそちらを御覧ください。

わたり、日数は週1～7日までまんべんなくいました。また、習い事へ通うのは自分の意志であり、それは保護者の勧めでもある子供が多かったです。

この結果を聞き、学校評議員さんは、子供の忙しさに驚くとともに、自分の意志で習い事を楽しんでいることに安心されていました。また、全国に比べ家庭学習で教科書を使わない子供の割合が多かった点は、ドリルや塾で別教材を使うか、自分なりの学習をしていることを子供たちは答えていました。

最後に提示したデータが、「将来の夢や目標」についてです。全国に比べ、

夢や目標をもっていない割合がやや多かった点を、学校評議員さんは心配されました。子供からは「4月なのでまだ迷っていたのではないか」「大人になるまでにもてればよい」という意見と、「自分は夢をもっているけど、もっていない子は夢がなければがんばれないのではないか」といった意見が出ていました。

最後は学校評議員さんから「習い事など楽しみながら頑張ってくれているのならよい。休みがないのは心配」「家族で参加できる地域の企画も考えていきたい」「放課後にいろいろな学年の子と遊ぶことも勉強」「夢や目標を見つけてほしい。頑張ったことはプラスになる」などの助言をいただき授業を終えました。

校長室へ戻っての懇談では、「子供がしっかりとした考えをもってよく意見を言うので感心した。日頃話し合いをよくやっていることが分かった」「心のゆとりがなくならないか心配」「不審者等の問題があるが、昔のように学校が自由に遊んで帰ることのできる場所に戻るとよい」といったお話をいただきました。今後も子供の実態をとらえ、多くの方の考えをお聞きしていきます。

